

いわてグラフ

特集1

震災から14年
感謝を力に、いわてから切り拓く未来

特集2

いわてのお米、いわての牛肉
いわて自慢のおいしさを!

特別編 いわてとツナガル
ミライのヒント

3

2025
March



表紙 いわてを支える仲間たち

岩手県立大学防災復興支援センター

FROM

学生団体FROMの皆さん

撮影場所 / 岩手県立大学(滝沢市)

復興支援から、困りごとを解決する「地域の相棒」に

一般社団法人 トナリノ



2011年、被災した陸前高田市の緊急支援のため「一般社団法人 SAVE TAKATA」として設立され、復興と発展に向けた活動を続けてきました。10年後の2021年、復興が進む中で、地域課題の変化に対応するため、活動の内容や地域を拡大し、「地域課題を解決する仕組みづくり」を行う団体へと移行。地域の相棒として、隣に寄り添う存在でありたいという思いを込め、法人名を「トナリノ」に変更し、地域の未来に向けた活動を行っています。

いわての未来のために活動している人たちが
自分たちが暮らす地域のため、そしていわての未来のために、地域の課題解決や地域防災力の向上に向けた活動をしている人たちがいます。ここでは、県内の2つの団体をクローズアップし、東日本大震災津波の発生から14年の今、どのような活動をしているのかをお伝えします。

活動1 防災伝承活動

3.11仮設住宅体験館を中心に、研修や体験型プログラムを通して、自らと家族の命を守るための知識を深める機会を提供しています。



活動2 団体支援活動

自治体や企業と連携して、地域の事業者や団体の計画作りや事務局運営、広報制作などの伴走支援を行います。



活動3 コワーキングスペース「ヤドカリ」の運営

旧仮設商店街「たまご村」にあるコワーキングスペースを運営。ワークスペースとしての利用はもちろん、カフェスペースやキッズスペースも利用できます。



活動1 防災・復興教育の支援

出前講義で実施することの多い「避難所運営ゲーム(HUG)」では、災害時の避難所運営などの課題について生徒たちと一緒に理解を深めます。



活動2 地域防災活動の支援

自治体主催の総合防災訓練では、防災グッズの紹介や、アンケート調査を実施することも。地域の方々との交流の場にもなっています。



活動3 防災・復興に係る情報発信

防災関連イベントの企画や出展を通じて、災害に備えることの重要性について情報発信しています。



復興の先を考える、防災を私たち「から」伝えていく

岩手県立大学防災復興支援センター



学生団体FROM

防災・復興に関する調査研究や人材育成などの活動に取り組む「岩手県立大学防災復興支援センター」。同センターが2024年4月、「学生団体FROM」を設立しました。

FROMは、学内公募で選ばれた学部・学年混合の20人の学生で構成され、このうち半数以上が防災士の資格を持っています。活動内容は、小・中・高等学校への出前講義や、自治体などが主催する各種防災訓練の運営支援、防災関連イベントの企画や出展・広報活動など。次世代を担う学生が、自分たちの目線で地域防災力の向上に向けた活動を行っています。

特集1

震災から14年 感謝を力に、いわてから切り拓く未来



東日本大震災津波の発生から、本年3月11日で14年となります。改めて、犠牲になられた方々に、謹んで哀悼の誠を捧げます。
岩手県は、「いのちを守り海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」を目指す姿とし、国内外から多くのご支援をいただきながら、県民一丸となって復興に取り組んできました。
これまでに、復興道路が完成し、防潮堤などの津波防災

東日本大震災津波から14年を迎えて

施設は、計画された事業の多くが完了しました。一方で、被災者のこころのケアなど一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援や、主要魚種の不漁対策などなりわいの再生については、中長期的に取り組んでいく必要があります。
また、「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」をはじめとした大規模災害に備え、関係機関と連携した防災・減災対策に取り組むなど、これからも、「誰一人として取り残さない」という理念のもと、「三陸のビルド・バック・ベター」、より良い復興に向け



岩手県知事 達増拓也

た取り組みを進めていきます。
3月11日は、「東日本大震災津波を語り継ぐ日」です。復興の歩みの中で得られた多くの絆や、人と人が支え合うことの大切さを胸に、東日本大震災津波の教訓を次世代へ語り継ぎ、一人ひとりの大切な人に想いを寄せながら、力を合わせて、ふるさと岩手を築いていきましょう。

表紙



いわてを支える仲間たち 岩手県立大学防災復興支援センター 学生団体FROMの皆さん

2024年4月、岩手県立大学の防災・復興に関心のある学生によって結成されました。今後、災害が発生した場合に備え、学生目線で地域防災に係る活動に取り組んでいます。

自らと家族の命を守る「自助」と、周りの人の命も守る「共助」の力を身につけた、地域防災のリーダーを目指します。

より詳しいお話をサイトで公開中



CONTENTS

特集1

震災から14年 感謝を力に、いわてから切り拓く未来 … ①

いわて県民計画PICK UP! … ⑤
テーマは「社会基盤」/社員の成長と幸福のためのDX

復興、その先へ【大船渡エリア】 … ⑥

特集2

いわてのお米、いわての牛肉 いわて自慢のおいしさを! … ⑦

いわて黄金のマリアージュ 酢飯でさっぱり牛肉のピビンバ … ⑧

このまちが好き【県央エリア】 … ⑨

岩手県からのお知らせ … ⑩

特別編

いわてとツナガル ミライのヒント … ⑪

ナシテ? イワテ、ダガラ! イワテ 読者アンケート&プレゼント 表紙

より良い復興に向けた 県の取り組み

県は、これまで、次に掲げる4本の柱を軸に、東日本大震災津波からの復旧・復興に取り組んできました。これからも、その成果と課題を踏まえ、「誰一人として取り残さない」という理念のもと、将来にわたって持続可能な新しい三陸地域の創造を目指し、取り組みを進めていきます。

ここでは、県が進める新たな防災対策など、4本の柱に基づく具体的な取り組みを紹介いたします。



I 安全の確保

災害による被害を最小限に抑え、住民の安全と暮らしを守る地域づくりを推進しています。

LINEを活用した被災者把握システムの導入

災害時に、LINEアプリを使うことで、避難所での受付時間を短縮でき、車など避難所外の被災者の支援ニーズなどを把握できる「被災者把握システム」の検討を進めています。

2024年に久慈市や遠野市で実証実験を行い、多くの参加者から導入に前向きな意見をいただきました。スマートフォンでの操作に慣れない方への対応などの課題を解消し、2026年度以降、県内市町村でスムーズに導入ができるよう準備を進めています。



災害時の避難所での受付方法

平時に、市町村の公式LINEアカウントから住民情報を事前登録（代表者が世帯の情報をまとめて登録できます）。災害発生時は、避難所の受付で「QRコードを表示」をタップし、職員に提示すれば受付完了。

II 暮らしの再建



被災者が安定した生活に戻ることができるよう、さまざまなニーズに対応するための環境を整備しています。

いわて被災者支援センターによる支援

被災者を取り巻く環境の変化により、抱える問題も複雑化・複合化しています。県は、2021年に「いわて被災者支援センター」を設置。恒久的な住宅へ移行した後において、生活面や経済面などで複雑な問題を抱えている被災者に対し、関係機関や専門家（弁護士、ファイナンシャル・プランナー）と連携しながら、生活再建を支援しています。



III なりわいの再生

主要魚種の不漁対策や新たな資源の有効活用による水産業の再生、中小企業の経営力の強化など、地域資源を活用した産業振興を図っています。



復興基金を活用した沿岸の産業振興

2024年度に公募を開始した水産加工業連携新活動促進事業補助金。この補助金は、新商品の販路拡大や県内産の農産物を使った冷凍加工品の試作など、被災した水産加工業者を含めた複数企業の連携により実施される新事業を支援しています。

補助金活用事例 大槌町水産加工業連携ネット 通販強化事業

一般社団法人 大槌町観光交流協会
大槌町内の水産加工業者10社と連携し、その事業者の商品を販売するECサイトにおいて、システム改良や事業者紹介、商品説明ページの充実などサイトのリニューアルを図り、販売力強化に取り組みました。

ECサイトはこちら

その他の支援策 | いわて希望応援ファンド地域活性化支援事業

IV 未来のための 伝承・発信

東日本大震災津波を風化させることなく、自然災害に強い社会の実現に向けて、震災の事実と教訓を伝承していきます。

東日本大震災津波伝承館を拠点とした伝承と発信

陸前高田市の高田松原津波復興祈念公園内にある「東日本大震災津波伝承館」は、2019年9月の開館以来、国内外から多くの方々をお迎えし、おかげさまで2024年6月に来館者が100万人に達しました。

館内には、これまでの三陸の津波被害の歴史、東日本大震災津波とその復興の取り組みに関わる映像や写真、実際の被災物などが展示されています。

東日本大震災津波から14年、当時の記憶のない世代が増えていきます。直接の経験がなくとも、当館の展示を通じて、災害の歴史から学び、記憶や経験を語り継ぎ、将来に生かしてほしいと思います。

あなたの行動が未来をつくります。東日本大震災津波伝承館は、これからも東日本大震災津波の事実と教訓の伝承をはじめ、復興の歩みと支援への感謝を発信し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指します。



東日本大震災津波伝承館
いわてTSUNAMI(つなみ)メモリアル
副館長 早坂 寛

一人ひとりの幸福を守り育てる「いわて県民計画(2019~2028)」

10の政策分野から今回は **社会基盤** をPICK UP!

PICK UP /
社会基盤

健康・余暇

家族・子育て

教育

居住環境・
コミュニティ

安全

仕事・収入

歴史・文化

自然環境

参画



いわて 県民計画 PICK UP!

県は、デジタル社会における県民の暮らしの向上と産業振興を図るため、デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進しています。

今回は、デジタル技術を活用した社内データの見える化などにより、業務改善を実現した企業の取り組み事例を紹介します。

いわてグラフ専用サイト

いわて県民計画について
もっと詳しく知りたい方は
こちらをチェック!

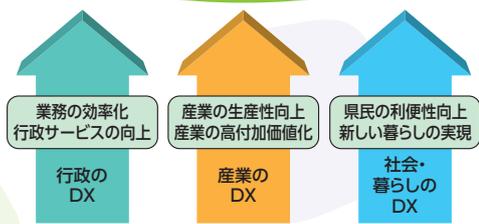


DXとは、単にデジタル技術を導入するだけでなく、既存の業務の流れや組織文化を変え、人間にしかできない新たなサービスの提供を可能にするなど、付加価値を創出するものです。

県は、「行政のDX」、「産業のDX」、「社会・暮らしのDX」、「DXを支える基盤整備」という4つの取り組み方針に基づき、あらゆる分野での利便性や生産性の向上に取り組んでいきます。

目指す姿

DXの推進により、県民一人ひとりが
快適に暮らすことができ、幸せを実感できる
「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」



最先端のデジタル技術の活用
誰もがデジタルを利活用できる環境の整備
DXを支える基盤整備

出典：岩手県DX推進計画

社員の成長と幸福のためのDX

県内の企業や団体の優れたDXの取り組みを表彰する「いわてデジタルトランスフォーメーション(DX)大賞2024」において、「岩館電気株式会社」が大賞を受賞しました。



「いわてDX大賞2024」授賞式の様子
(平野代表取締役社長は前列右から2番目)

同社のDXへの取り組みは、平野代表取締役社長が以前勤めていたグローバルT企業から岩手に戻った2013年に始まりました。会社の情報を全社員に公開することで、社内の情報格差をなくすことが大切だと考え、社内データの共有・集約や、自社開発したシステムによるデータの見える化といった、DXの取り組みを進めてきました。

「社員に働きやすい環境を提供することで、仕事をする喜びを感じてほしいという思いから取り組みを始めました。結果、社員が必要とする情報を即時に入手できるようになり、残業時間を削減でき

ただけではなく、会社の業績も上がり、社員の給与増にもつながっています。今後も現場のニーズに合わせて柔軟に最適化を進めていく予定です」と平野代表取締役社長。
県内では、地域や企業でさまざまなDXの取り組みが進んでいます。

DATA 岩館電気株式会社
盛岡市長田町23-27
019-651-6666



代表取締役社長の
平野喜英さん

「いわてDX大賞2024」受賞団体が決まりました

「いわてDX大賞2024」には、県内の10団体からご応募をいただき、選考委員会による審査の結果、次のとおり受賞が決定しました。

- 大賞／岩館電気株式会社
 - 優秀賞／大船渡市、信幸プロテック株式会社
 - 地域の未来に繋がるで賞／奥州市
- 詳しくはこちらをご覧ください▶



いわてのお米、 いわての牛肉

いわて自慢の

おいしさを!

澄んだ空気、清らかな水、豊かな土、自然の資源に恵まれた岩手県では、その立地特性を生かした農業・畜産業が展開されています。いつもの食卓で、そして、特別なハレの日に、生産者が愛情を込めて育てた自慢のおいしさを味わってみませんか。



粘りと柔らかさ、甘みが特徴の「金色の風」



「いわて牛」・「いわて短角牛」(写真はいわて牛)

県産米の フラッグシップ 「金色の風」

いわての ブランド牛 「いわて牛」 「いわて短角牛」

生産者の声

手塩にかけた「金色の風」
一人でも多くの人に
食べてもらいたい

岩手県金色の風栽培研究会
会長 高橋貞信さん



手間暇をかけて愛情たっぷりに「金色の風」を育てている生産者・高橋貞信さんにお話を伺いました。

「『金色の風』は、県南地区で、地域を厳選し、栽培されている品種ですが、少しの雨風でも稲が倒れやすく栽培がとても難しいので、生産者が少なく収穫量も限られています。そのため、消費者が食べる機会が少ない希少品種と言えます。食味の特徴は、粘りと柔らかさ、甘みがあるところ。冷めてもおいしいため、おにぎりやお弁当にも向いていると思います。お米好きな人はもちろん、たくさんの人に食べていただき、そのおいしさを実感してほしいですね。1人でも多くのファンが増えることを願っています」。



金色の風



金色の風のホームページ



た食感、冷めても変わらない粘りが特徴のお米です。

「金色の風」

厳しい品質目標をクリアしたいわてのお米

県は、全国トップクラスの米産地としての地位の確立を目指して、知事によるトップセールスや、いわて純情米消費拡大月間を活用したPR活動などに取り組んでいます。

こうした取り組みにより、「金色の風」や「銀河のしずく」といった県オリジナル品種をはじめとした、県産米の認知度向上が図られています。

今回、県産米のフラッグシップ

(代表的な品種)である「金色の風」について、その魅力や生産者の思いを紹介します。

ぜひこの機会に、いわてのおいしいお米をご堪能ください。

「金色の風」は

2017年秋にデビューした、岩手のオリジナル品種です。選定基準を満たした生産者により栽培され、厳しい品質目標をクリアしたお米だけが「金色の風」として出荷されます。豊かな甘み、ふわりとした食感、冷めても変わらない粘りが特徴のお米です。

「いわて牛」・「いわて短角牛」

いわてが誇るブランド牛

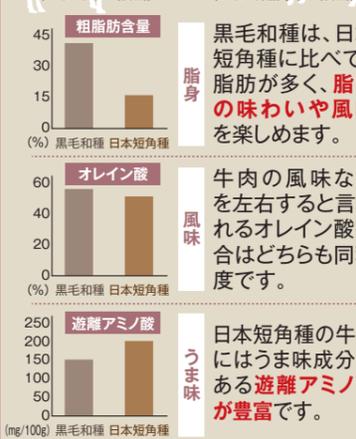
岩手県は日本有数の米どころであると同時に、畜産県としても広く知られています。豊かな自然と栄養が豊富な大地、理想的な肉牛生産環境のもと、畜産農家のきめ細かな愛情により育まれた牛肉は、全国で高く評価されています。

「いわて牛」は岩手県内で育てられた黒毛和種で、全国肉用牛枝肉共励会において、全国最多11回の日本一に輝いている日本最高級のブランド牛です。きめ細かく柔らかで豊かな風味が特徴で、肉質等級、歩留等級などを厳しく審査された牛肉だけが「いわて牛」として認められます。

そのとろける味わいは、一度食べると病みつきになるほどです。

「いわて短角牛」は、県北地域を中心に生産されており、澄んだ空気と水、豊富な牧草に恵まれた、広大な草原で育てられた日本短角種です。日本短角種は和牛の一種で、全国で飼養されているうちの約4割が県内で育てられており、岩手が飼育頭数日本一となっています。脂肪分が少なく、ヘルシーな赤身の高タンパク牛肉で、噛むほどにおいしさが広がります。皆さんもぜひ、いわての牛肉を味わってみてください。

黒毛和種 比較 日本短角種



黒毛和種は脂を楽しむお肉
日本短角種は赤身を楽しむお肉

「いわて牛」の 主な地域銘柄

- いわて八幡平牛(八幡平市)
- いわて雫石牛(雫石町)
- 岩手しわかもち牛(紫波町)
- いわてきたかみ牛(北上市)
- 前沢牛(奥州市江刺除く)・金ヶ崎町)
- いわて江刺牛(奥州市江刺)
- いわて南牛(一関市・平泉町)

「いわて短角牛」の 主な地域銘柄

- いわてくじ山形村短角牛(久慈市山形町)
- いわいずみ短角牛(岩泉町)
- 二戸短角牛(二戸市)
- もりおか短角牛(盛岡市)

料理人の声

「いわて牛」「いわて短角牛」
おすすめの食べ方

「いわての食材は海の幸・山の幸どちらも種類が豊富で素晴らしく、首都圏でも高く評価されています」と話す狩野シェフ。「いわて牛」・「いわて短角牛」をおいしく食べるコツを教えてくださいました。

「『いわて牛』は、きめ細かいサシが入った黒毛和種で、すき焼きやしゃぶしゃぶ、ローストビーフなど薄く切って使用する料理に向いていて、肉の味を引き立てる調理法が良いでしょう。」

一方、「『いわて短角牛』は赤身の肉で、黒毛和種に比べて歯ごたえがあり、しっかりとした肉の味が楽しめます。自然放牧による個体差があるため、個性豊かな味を楽しむことができるのも短角牛の魅力です。部位によって味わいも異なり、それぞれの楽しみ方がありますが、特にランプステーキ(下腰部の肉)は肉のおいしさが引き立ちます。たれは控えめにし、わさびや塩などでシンプルに素材の味を楽しむのがおすすめです」。



ホテルメトロポリタン盛岡
総料理長 狩野美紀雄さん



いわて牛の
ホームページ



いわて短角牛の
ホームページ



- 肉質等級とは
「牛肉の色沢(色やつや)」「牛肉の締まりときめ」「脂肪の色沢と質」「脂肪交雑(脂肪の入り具合)」の4つを総合的に評価したランクのこと。
- 歩留等級とは
その牛からどのくらい商品となる牛肉が取れるのかを評価したランクのこと。

いわて黄金のmarriage

食材の宝庫いわて。旬の岩手県産の食材に、
いわてのオリジナルの品をプラスして
簡単でおいしい一品料理を作ってみませんか。



岩手県産牛肉



トマトと生姜のドレッシング

酢飯でさっぱり
牛肉のピビンバ



酢飯で食べるさっぱりピビンバ。ドレッシングを使った合わせ調味料で簡単・本格的な味わい。



レシピは
こちら!

いわてグラフ専用サイト

[レシピ監修]
野菜ソムリエ
上級プロ
小原 薫さん

品質の高さが自慢のいわての牛肉。うす切り、または、こま切れを使います。

トマトのうまみと生姜が効いたドレッシングは、肉料理との相性抜群です。



岩手県公式観光サイト
いわての旅「県央エリア」▶



かわしま
川島レラさん

Profile

神奈川県藤沢市出身。大学1年時から岩手に通い、NPO法人SETで活動。2023年に岩手町に移住。「いわてユースセンター ミライト」を運営。
ユースワーカー。

4広域振興局がお届け!

この ままちが 好き

県央エリア

今回は、盛岡広域振興局
エリア在住の川島レラ
さんから地域の魅力を
お聞きします。

「いわてユースセンター ミライト」1階のカフェにて。
カフェはまちの人も利用できる、みんなの居場所。

若者が「やりたい」をかなえられるまち 岩手町



ミライトのスタッフ・若者たちと。かわいいオブジェがある「石神の丘美術館」はお気に入りの場所。

岩手町は人口が約1万1500人の小さなまち。若者も少なく、社会に出た時に活躍できる場もあまりないと思われがちです。しかし、ミライトを運営しながら、まちの人に話を聞いたり、地域の祭りに

参加すると、自身の経験を生かし、若者を応援したいというまちの人の大きなエネルギーを感じます。田舎だから何もできないと諦めるのではなく、勇気を出して一歩踏み出してみると、いつしか世代を超えたコミュニティができ、活躍の場が広がります。

首都圏の大学在学時に、NPO法人SETを知り、学生ボランティアとして岩手県内での活動に参加。その後、学校でも家でもない、中高生のための第二の居場所「いわてユースセンター ミライト」の立ち上げに参画しました。大学卒業後、岩手町に移住。現在はNPO法人SETに所属しながら、若者の成長を支援するユースワーカーとして、中高生の居場所や地域コミュニティづくりに取り組みんでいます。

「わんこきょうだい」オリジナルグッズが当たる!

このまちクイズ

クイズに正解した方の中から抽選で5名様にわんこきょうだいグッズをプレゼント!

Q 岩手町にある野外彫刻美術館は??

応募フォーム

こたえ ○○の丘美術館

いわてグラフ専用サイト



応募締切
2025年
3月26日*



岩手町にあるだんご屋「西田商店」店主と若者で商品を開発した「匠プロジェクト」。今も交流が続いています。



ご存じですか？



募集しています

県職員の給与等のあらまし

県職員の給与は、県議会での予算や給与条例の審議、県人事委員会の給与勧告などを通じて明らかにされていますが、県民の皆さまに、より一層の理解をいただくため、そのあらましをお知らせします。

給与費の状況(2024年度普通会計予算)

職員数 A	給与費			一人当たり 給与費 B/A
	給料	職員手当 期末・勤勉 手当	計 B	
18,694 (人)	77,436,235 (千円)	46,061,065 (千円)	123,497,300 (千円)	6,606 (千円)

※職員数には、知事・議員などの特別職の職員、非常勤の職員や公営企業などの職員は含まれていません。
 ※職員手当には、退職手当及び児童手当は含まれていません。
 ※特別職の職員や非常勤の職員に支払われる給与、共済組合、公務災害補償の負担金などは本表には含まれていません。



▲詳細は、ホームページをご覧ください

◎県庁人事課
019-629-5079

岩手県がん診療ポータルサイト

岩手県がん診療連携協議会は、がん患者さんやご家族の方の不安や悩みに寄り添い、支える手助けとなることを目指し、ホームページをリニューアルしました。

県内の病院や治療に関する、身近な相談窓口や医療制度、支援に関する情報など、がんに関する情報をまとめたホームページです。ぜひ、ご利用ください。

◎岩手県がん診療連携協議会
情報提供・相談支援部会
019-613-7111



▲ポータルサイトはこちら

2024年度岩手県芸術選奨作品募集中!

優れた芸術活動の業績を表彰する「岩手県芸術選奨」の参加作品を募集しています。

- 募集作品
2024年4月～2025年3月の間に発行、発表した下記分野の作品
(1) 文学作品、評論などを内容とする出版物
(2) 演劇、音楽、舞踊、能楽、邦楽、舞台美術の各分野における公演、発表(単独での公演などに限る)及び映像による作品

- 募集期限
2025年6月2日(月) 消印有効
たくさんのご応募をお待ちしています。



▲詳細は、ホームページをご覧ください

◎県庁文化振興課 019-629-6485

県営住宅の入居者を募集しています

県営住宅は、所得が少なく住宅に困っている方を対象に、安い家賃で賃貸するために県が整備した住宅です。家賃は、住宅の建設年度などにより異なり、また、入居する方の「人数」や「収入状況」に応じて決められます。

入居資格や募集案内の詳細については、岩手県建築住宅センターまでお問い合わせください。



▲詳細は、ホームページをご覧ください

◎(一財)岩手県建築住宅センター
019-623-4414

岩手の歴史トピックス デジタルアーカイブ公開

県政150周年を記念し、昭和から平成までの県政映画・広報誌の中から、花巻空港の開港や東北新幹線の開通、国民体育大会などのトピックスや、その時代の県民生活を記録した映像・記事をデジタル化し公開しています。

1950年代から2010年代までの60年間にわたる産業、文化、教育、環境など岩手の社会のさまざまな場面と、そこで生きてきた人々の記録をぜひご覧ください。



▲ホームページはこちら

◎県庁ふるさと振興企画室 019-629-5215

ご意見・ご提言はこちら

手紙・はがき 〒020-8570(住所不要)岩手県広聴広報課
 電子メール koucho@pref.iwate.jp
 電話 019-629-5110
 受付時間 8:30～17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
 ファクシミリ 019-651-4865[24時間受付]

ホームページ・SNSで岩手の情報発信中!

県政情報、防災情報、岩手の魅力情報を発信中
「岩手県広報広聴課X」



「岩手県公式LINE」



岩手県ホームページ
岩手県



東日本大震災津波伝承館の情報を発信中

「いわてTSUNAMIメモリアル」



放射線影響対策のお知らせ

野生山菜採取にあたっての留意点

野生山菜の検査の結果、放射性物質濃度が基準値を超えると出荷制限などが行われます。採取の際は県ホームページを参考にしてください。なお、販売する場合(フリマサイトなどで販売する場合も同様)は販売前に自主検査を行い、100ベクレル/kg以下であることを確認してください。

野生山菜の出荷制限などの状況(2025年1月31日現在)

品目名	対象地域
コシアブラ	盛岡市、花巻市、北上市、遠野市、一関市、釜石市、奥州市、住田町
ゼンマイ	一関市、奥州市、住田町
ワラビ	陸前高田市、奥州市(旧前沢町及び旧衣川村の区域)、平泉町(旧長島村の区域)
タケノコ	一関市(旧一関市、旧室根村及び旧川崎村の区域)、陸前高田市(旧矢作村及び旧横田村の区域)、奥州市(旧前沢町及び旧衣川村の区域)

◎【放射性物質濃度検査】県庁県民くらしの安全課 019-629-5270
 【出荷制限など】県庁林業振興課 019-629-5775
 【全般】県庁復興危機管理室 019-629-6924

県政テレビ番組

■テレビ岩手 …… 月曜日 18:54～19:00 (再放送) 土曜日 21:54～22:00

■岩手めんこいテレビ 日曜日 8:55～ 9:00

※都合により放送時間が変更になることがあります。

いわて! わんこ広報室

毎週放送中



岩手を離れてみると、岩手はとても住み心地が良かったと感じています。今では、公共交通が少ないことも悪いことではなかったなと思います。電車で揺られてぼんやり景色を眺める時間もとても好きでした。東京でホームシックになり、岩手のことを検索していた時に「岩手わかすフェス」*を見つけ、自分からメールを送り参加しました。2025年は実行委員長を務め、関東に来ていなければ出会えなかった人や、岩手で働く社会人と交流することができ、岩手を通じた人の輪が広がったと感じています。就職してからも岩手とつながり続け、ゆくゆくは学んだスキルを岩手に持ち帰りたいと思います。

お茶の水女子大学 文教育学部言語文化学科3年
細川 瑠杏さん

Interview to
Rua Hosokawa



岩手を思い、首都圏で学ぶ大学生はこんなミライを考えています!

東京でビルに囲まれていると、常にどこかに「山」が見えた岩手の風景を懐かしく思います。岩手を出ているいろいろな人と関わる中で、地方に関心がある人は、思ったよりもいるという印象がありますね。大学では地方の教育について研究しており、岩手に生まれた人が将来的にどのように岩手と関わっていくかということには、高校までの教育が影響していると考えています。そこで今後は、高校と地域の結びつきを盛り上げていくことが重要になると思います。これからも岩手とつながり、地域に目を向けながら、地方創生のヒントを与えられるように研究を続けたいと考えています。

東京大学 教育学部4年
白岩 裕悟さん

*岩手わかすフェスとは
首都圏の「岩手な人」がボランティア・プライベートで企画する岩手との「関わり方」を提案するイベント。

いわてとツナガル大学生の声を聴こう

県政懇談会 『いわて幸せ作戦会議in東京』

若者の皆さんの生の声を聴くため、県は、2024年10月に、首都圏に在住している岩手県出身の大学生と達増拓也知事との県政懇談会を、県外で初めて開催しました。

どうやって岩手とつながる若者が増えるのか、学生たちから意見を聴きました▶



▲首都圏で学生生活を送る岩手県出身の大学生7人が、知事と率直な意見交換



▲県政懇談会を終えて、全員で記念撮影

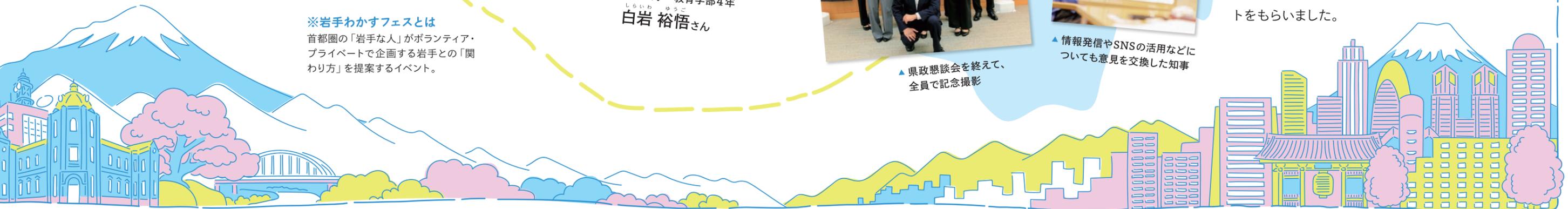


▲情報発信やSNSの活用などについても意見を交換した知事

進学や就職により県外へ転出する若者は多く、社会減対策は岩手県の重要課題のひとつです。この課題を解決していくためには、「若者たちといわてとのつながり」をこれまで以上に強化していくことが重要です。県は、若者の皆さんの声を聴きながら、さまざまな取り組みを進めていきます。

いろんなヒントが盛りだくさん! 東京で気づく、岩手のチカラ

首都圏で学ぶ岩手県出身の学生からは「自然が多い岩手は住み心地が良い」「大学で学んだスキルを岩手に持ち帰りたい」「帰省するときの交通費の負担が大きい」「首都圏の学生で岩手に興味を持っている人は多い」など、さまざまな声が上がりました。知事は、学生一人ひとりの話を丁寧に聴き、県の取り組みを説明しました。2時間あまりの懇談会の中で、学生たちから「若者たちに選ばれる『いわて』であるためにどうしたら良いのか」を考えるヒントをもらいました。



いわてとツナガルためのエトセトラ

県は、一人ひとりの自由な選択を尊重し、希望する生き方の実現を応援するため、さまざまな取り組みを進めています。ここでは、若者の皆さんが今後、岩手とのつながりを深めていく上で参考になる情報を紹介します。

岩手の若者情報がギュッと詰まってる!

いわて若者交流ポータルサイト『Co.Nex.Us』

(コネクサス)

内外の若者団体や若者を応援したい団体が参加し、情報発信を行っているポータルサイト。若者団体の活動状況の報告やイベント告知など、岩手の若者情報が随時紹介されています。サイトに登録することで情報発信を行うこともできますよ。

公式キャラクター コネックさん

Co.Nex.Us (コネクサス)

いわて若者移住支援金

東京圏*から岩手に移住して就職する若者の経済的負担を軽減します。県内の移住支援金対象法人に就職する方などが対象で、東京圏*の大学や専門学校などを卒業する新卒者も利用できます。

いわて若者移住支援金 ▶

地方就職支援金

東京都内に本部がある大学の東京圏*内のキャンパスに通う学生が、岩手県の企業への就職活動に参加するための交通費(1/2程度、上限15,200円)を支援します。

地方就職支援金 ▶

*東京圏……東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県(条件不利地域を除く)

岩手の仕事・就職情報サイト『シゴトバクラシバいわて』

シゴトバクラシバ | IWATE

岩手で働きたい人と県内企業をつなぐ県公式の「就職マッチングサイト」。県内の就職情報や支援制度をはじめ、学生向けのセミナー、交流イベント、U・Iターンに関するイベント情報などを随時紹介しています。

岩手で働いてみよう! と思ったら

シゴトバクラシバいわて

岩手の企業をカジュアルに紹介!

Z世代の皆さんの就職活動を応援するメディア『みんなの想職活動』

学生に向けて、岩手の企業の面白さをカジュアルな企画編集の切り口で発信しています。「こんな仕事があるのか岩手」「集まれ! 熱血技術者」「部活と仕事」「世界に推したい企業」など、コンテンツも充実。「岩手にはどんな仕事があるんだろう」と思ったら、ぜひのぞいてみて。

みんなの想職活動

みんなの想職活動

ワークスタイルムック『冒険者の仕事場』

県内の高校生向けに制作した、県内の企業の魅力や、岩手で働くことの価値を発信する冊子。岩手には、こんなに輝いている先輩たちがたくさんいます。表紙には株式会社ヘラルボニーの契約作家のアートを採用。県内で活躍する7つのデザイナーチームと連携して制作した、どこから読んでも面白い冊子です。

岩手ではカッコいい先輩たちが働いている

ワークスタイルムック『冒険者の仕事場』(電子ブック版)





たんのわたる 丹野 渉さん

陸前高田市出身。岩手大学工学部卒業後、半導体商社、外資系コンサルティングファームなどを経て、株式会社Relicに事業プロデューサーとして参画。現在、執行役員。

ナシテ？イワテ

ダガラ！イワテ

岩手で暮らしたい、岩手で働きたい、岩手に帰りたい、県外にいても岩手とつながりたい。
さまざまな形で岩手を選んだ方に、なぜ岩手を選んだのか聞いてみました。

岩手への思いを大切に 人や企業をつなぐ 架け橋に

東京に本社を置く「株式会社Relic」で、日本全国を対象に新規事業開発やマーケティング支援などの業務に携わる丹野さん。上京のきっかけは、大学在学時に発生した東日本大震災津波でした。生まれ育った故郷のために、自分に何ができるのか。中長期的な視点から、新しい事業をつくる必要があると思ひ、その力を身につけるために、卒業後上京し、事業開発のキャリアを積んできました。

「これまでに培った知見を、岩手に還元していきたい」と話す丹野さん。「Relic」には、丹野さんの他にも岩手県出身者が複数人在籍しており、同郷仲間とともに岩手での事業創設に向けて取り組みを進めています。

また、母校の岩手大学で行われている「地域協創教育」に携わり、学生の創造性やチャレンジ精神を高めるためのサポートを行っているほか、「岩手県盛岡市」をキーワードにゆるくつながる

LINE公式アカウント 「いわてとつながろう」

県外にお住まいの皆さんに、岩手の情報をお届けするLINE公式アカウント「いわてとつながろう」を開設しています。どなたでもお気軽にご登録ください。

LINEの「友だち登録」から

\ ID検索 / \ QRコード /

@iwate_tsunagu

検索して友だち追加

または

胸に、岩手と人や企業をつなぐ架け橋としてこれからも走り続けます。



同郷の仲間と情報交換をする丹野さん

インタビュー動画をサイトで公開中

いわてグラフ専用サイト



アンケートに答えてプレゼントをもらおう!

- 記事は分かりやすかったですか?(番号で回答)
1非常に分かりやすい **2**分かりやすい **3**普通 **4**分かりにくい **5**非常に分かりにくい
 ※**4**または**5**の方は、どのような点が分かりにくかったかお書きください。
- 今回の企画で興味を持ったものは何ですか?
- 県政で興味があるものは何ですか?(番号で回答)
1産業 **2**医療・福祉 **3**防災 **4**教育・文化 **5**環境 **6**社会資本整備 **7**その他(関心のあるものをお書きください)
- 本誌へのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

A 滝沢西瓜缶詰
白缶・黒缶(各200g)
3名様
📍駿河農園ベジスル
vegесur@outlook.jp



滝沢西瓜をカットして缶詰に。スイカ本来の甘さと食感が楽しめます。※原材料にハチミツを使用。黒缶はアルコール1%未満含む。

B トマトと生姜のドレッシング
200ml・2本
5名様
📍一般社団法人SUMICA
0192-22-7808



トマトのうまみと生姜が効いたドレッシング。P8「いわて黄金のマリアージュ」のレシピをお試ください。

アンケートにお答えいただいた皆さまの中から抽選で合計8名様にプレゼント!

住所・氏名・年齢・職業・電話番号・ご希望の商品のアルファベット記号(A・Bいずれか)をお書きの上、ハガキ、FAX、電子メール、または右の二次元コードを読み込んで、応募フォームからご応募ください。■送り先/◎ハガキ:〒020-8570(住所不要)岩手県広聴広報課「いわてグラフ3月号・読者アンケート」係 ◎FAX:019-651-4865 ◎電子メール:kouhou@pref.iwate.jp ■応募締切/2025年3月26日(水)必着 ■当選発表/商品の発送(3月末頃)をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報やアンケートの内容につきましては、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計、プレゼントの発送にのみ利用させていただきます。

